RCC 就職レディネス・チェック

Readiness Check for Career planning

●就活を成功させるための知恵

ペーパー版

Web版

●編著　就職レディネス・チェック開発委員会

●監修　渡辺三枝子
立教大学大学院 特任教授

松本純平
独立行政法人労働政策研究・研修機構 労働大学校 特任研究員

（所属・肩書きは開発当時のものです。）

●対象　これから就職活動を始める大学生、短大生、専門学校生、大学院生等

就活スタートをサポート

プレインターンシップに最適

- 「就職」への気づきを与えます
- 就職活動へのモチベーションをアップさせます
- 自分のキャリア形成について考えるきっかけになります
- 自分では気づかない「思い込み」に気づくことができます
- 就職活動に必要な行動を促します

価格

	購入数	価格		
●ペーパー版（セットのみ）	4セット以下	1セット(20名分)	9,240円	@462円（1名分あたり）
	5セット以上	1セット(20名分)	6,930円	@346円（1名分あたり）
●Web版（1名単位可）	1～99名	1名分	462円	
	100名以上	1名分	346円	

（税込）

一般社団法人 雇用問題研究会

概要

■学生１人ひとりのキャリア発達をサポートし、成長を促します

学生が自分の就職活動への取り組み状況（準備度）を客観的に点検し、モチベーションをアップさせたり、行動を促すことで、今後の活動に活かすことを目的としています。
就職のためのステップである「就活」という課題に取り組む体験を、知恵を身につけ、成長するための学習の機会とする、という考え方に基づいて開発されました。
自分にとって「就職」とは何かを考え、「就活」にきちんと向き合うことを通して、これまで常識だと思っていたことが実は根拠のない「思い込み」だったと気づいたり、自分の人生と職業、キャリアプランについて考えるきっかけとすることができます。
2回の実施が可能で、1回目の実施後から2回目までの成長･変化を確認できます。

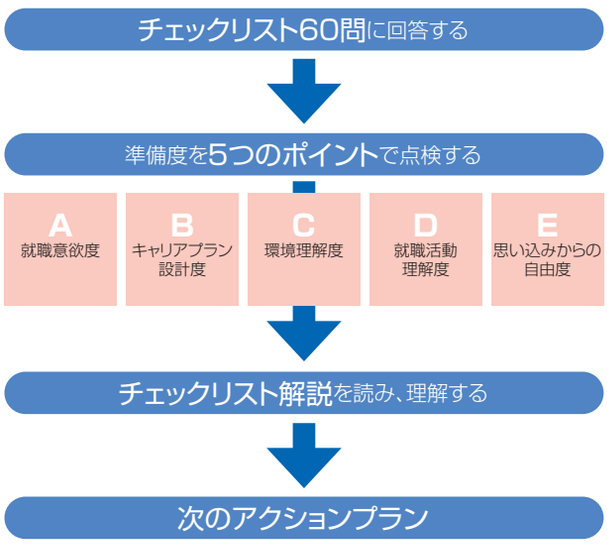
■キャリア教育、就職支援の資料とすることができます

チェックリストとアンケートの結果から、学生の傾向を把握し、ガイダンスのプログラム企画等の参考資料として活用できます。

■リアルタイムで集計データが得られるWeb版

Web版では、リアルタイムに個人結果、集団の集計結果データが得られます。集団の結果では、5つのポイントと全設問ごとに全体、性別、学部別、年次別の平均が示され、それぞれの傾向が把握できます。データはCSV形式で保存できますので、加工が自在で、現状の課題の把握や対策の検討に便利です。
学生はスマホやパソコンがあれば一人で自宅でもでき、結果は回答後すぐに自動的に表示されます。自分の回答状況と各ポイント、各設問の解説を参照しながら確認できるようになっています。
なかなかガイダンスに出てこない学生にも、意識喚起のきっかけとして実施を呼びかけ、結果を把握することができます。
学生と大学側で結果をWeb上で共有できるので、オンラインでの個別面談等の資料としても役立ちます。

構成



「就職レディネス･チェックリスト」で、60の質問に「はい」と「いいえ」で回答します。
結果は、就職の実現のために大切なA:就職意欲度、B:キャリアプラン設計度、C:環境理解度、D:就職活動理解度、E:思い込みからの自由度、の5つのポイントの分類で得点化されます。ワークブックで結果を整理し、どのポイントが高いか、また低いかなどを点検し、自分の準備状況をチェックします。（Web版では結果が即表示されます）
ポイントごとに期待されるレベル（基準点）が設定されており、1回目より2回目が高くなっています。5つのポイントは、相互に影響し合いながら、高められていきます。
さらに、チェックリスト各項目の解説を読むことで理解を深められるようになっています。
そして、チェックリストの結果を振り返り、「次のアクションプラン」で、就活での次の活動目標を立てさせます。

実施

■対象

① これから就職活動を始める学生
（大学3年生、短大1年生、専門学校生、大学院1年生等）
② 大学1、2年生

■所要時間

最短30分（解説を加えるなどにより延長も可能。回答のみでは約10分）

活用場面･活用方法

■就職ガイダンスでの集団実施

就職ガイダンスのキックオフ時に実施し、さらに就活が本格化しガイダンスのプログラムが終了する頃に2回目を実施すると、変化（成長）を確認することができます。

■インターンシップの効果測定に

インターンシップへの参加の前と後に実施すれば、実際の職場体験によって就職のモチベーションや職業への意識などがどう変化したかをアセスメントすることができます。

■個別面談時のサポートツールとして

面談開始時に活用すれば、学生の就活の準備状況を短時間に把握したうえで面談に入ることができます。

■キャリア教育の一環として

就職支援時だけではなく、大学1･2年生に実施することも可能です。期待値（基準点）にはとらわれず、就活時には社会からどのようなことが求められているかを早く知ることで、その後の大学生活の過ごし方を考える材料になります。

●グループワーク
学生同士が自分の結果をお互いに見せながら話し合うことで、理解が深まり、視野も広がります。

●個別面談
集団実施の場合は、可能なかぎり個別面談につながるしくみを作っておくと、RCCの結果をもとに今後の就活の方針、行動計画を学生とカウンセラーとで作成し、進捗を確認しながら就活の準備を進めることができます。いきなり個別面談を開始する場合と比べ、課題が明確であるため、個々の課題に即した具体的な目標を効率よく立てることにもつながります。

学生の声

- 自分の立ち位置が明確になったので、よかったと思う。課題も見つかり、今後自分がどう成長すべきかが把握できてよかった。
- あらためて自分の弱点や足りないところを理解できたのでよかった。もっと就活に向けて頑張らなければいけないと感じました。
- 根本的に足りなかったことがキャリアプランの設計だとわかりました。自分がどのような社会人になりたいのか、本当に自分が専攻している分野に関する仕事につきたいのかなど真剣に考えるきっかけとなりました。
- 項目で、「そうか」と思ったことが意外とありました。こういう考え方や行為を新たに発見できたのでよかったです。
- 60 問の質問に答えながら、自分が今まで考えてこなかったような質問があり、これから考えていきたいことを発見できました。
- 意欲の低さからあまり積極的に活動していなかったが、具体的に何が足りないか、何が必要か多少なりとも可視化できてよかった。
- 現段階では頭でわかっていても、具体的に行動に移すような積極性が自分にはないと感じました。また、就職活動自体への理解がまだまだの部分もあるので、そこから始めないと活動がうまく進まないと思いました。まず取り組むべき課題が見つけられてよかったです。

活用事例

駒澤大学　学生の就活への不安をやわらげ、今後の目標を具体化し自走を促す

駒澤大学
キャリアセンター
加藤　駿 氏

駒澤大学キャリアセンターでは、3年生の第1回就職ガイダンス（4月）にてRCC-Web版を学生に案内しています。
実施した学生は、その結果を持参して5月中旬開催の解説講座に参加します。解説講座では、「就職意欲度」「環境理解度」等5つのポイントに対応した大学開催の支援イベントを紹介するため、学生は具体的なアクションプランを作成し、能動的な就活につなげることができます。

第1回就職ガイダンス 3年生 4月 → 学生が各自でRCCを実施 → 解説講座 3年生 5月

RCC-Web版を学生に案内。希望者にIDとパスワードを配付。

RCCの結果を持参し解説講座に参加。

解説講座の構成

講義	5つのポイントの解説と対応する大学開催の支援イベントの紹介
ワーク	ワークシート*)を記入し、今後のアクションプランを具体化する。
グループワーク	参加者同士で具体化したアクションプランを共有する。その後、参考になったことや気づいたことを基に、立てたアクションプランを加筆修正する。

*）ワークシート：RCC実施後のサポートツール。申込み制、ダウンロード形式。詳細は当会サイトをご覧ください。

ペーパー版

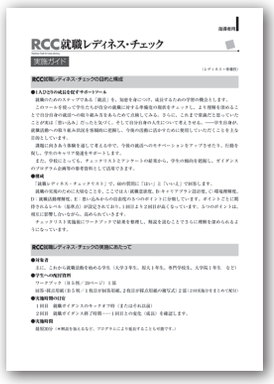
1名分
- ワークブック（1部） B5判／ 24ページ
- 回答・採点用紙（2部） B5判／1枚目が回答用紙、2枚目が採点用紙の複写式

＊チェックリストは、自分の変化（成長）を確認するために、期間を空けて2回実施できるよう、回答・採点用紙が2部ついています。

●ワークブック 1部

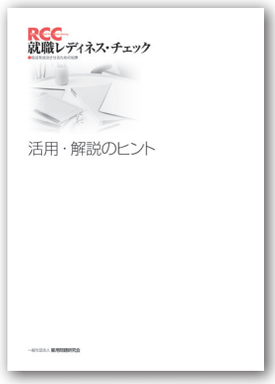
●回答・採点用紙（複写式） 2部

●実施ガイド 指導者用



ペーパー版・Web版共通

●活用・解説のヒント 指導者用



RCCの各設問に対する解説のポイント等、支援者に役立つヒントが満載。（PDF 16ページ／ダウンロード形式）

Web版 ●スマホ対応

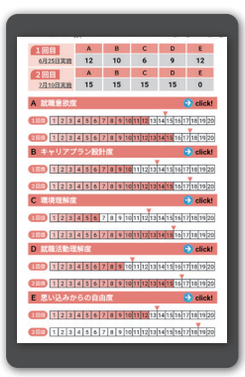
- 対象人数分のIDとパスワードを発行します。
- チェックリストは、自分の変化（成長）を確認するために、期間を空けて2回実施できるようになっています。（有効期間は原則として1年間です。）

●推奨動作環境
■PC：Windows 8.1以降／ MacOS 10.13 High Sierra以降
■スマートフォン、タブレット：Android 7.1以降／ iOS 11.0以降

学生用画面

●タイトル画面

●チェックリストに回答

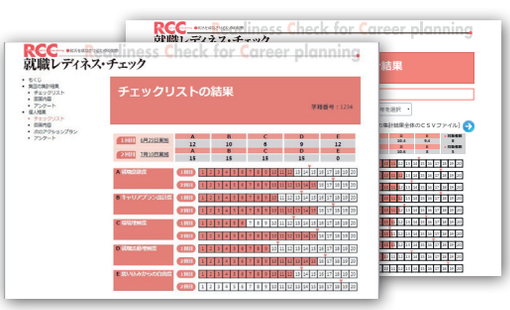


●チェックリストの結果

●各項目の解説

●次のアクションプラン

管理者用画面



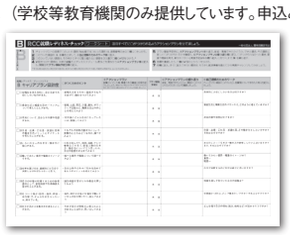
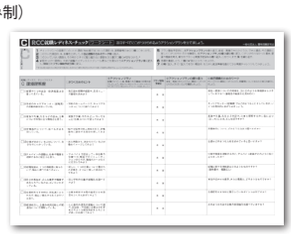
●チェックリスト 個人結果画面と集団集計結果画面

●各項目回答内容 集団集計結果画面

●実施ガイド 指導者用

ワークシート

- RCCの結果をもとにして、さらに今後の就職準備のために自分のすべきことを整理できるようにワークシートをご用意しています。
  実施後のサポートツールとしてご利用ください。（学校等教育機関のみ提供しています。申込み制）

お申込み・お問い合わせは

一般社団法人 雇用問題研究会

http://www.koyoerc.or.jp

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1－14－5 日本橋Kビル2階 電話03（5651）7071 FAX 03（5651）7077

932137-005-202204-2000